

知事談話

本日、4月1日付けで総数1,624人の人事異動を発表いたしました。

令和6年度は、「いきいきと仕事ができる高知」、「いきいきと生活ができる高知」、「安全・安心な高知」の3つの目指すべき高知県像を実現するべく、県民の皆さんとの対話を通じて県政に対する共感をいただき、課題の解決に向けて前進し、成果を上げる必要があります。そして、県政の最重要課題である人口減少の克服に向けて道筋をつけ、高知の未来を切り開いていく、その新しい一歩を踏み出す1年にしたいと考えております。

このため、各施策を着実に進めながら、新たな取組にも果敢に挑戦できるよう組織改正と人事配置を行いました。また、管理職を含むポスト職に女性職員を積極的に登用し、女性の活躍の場の拡大と、その能力を発揮してもらうよう意を用いたところです。

引き続き、「共感と前進」を県政運営の基本姿勢として、官民協働、市町村政との連携協調の下、時代の変化を先取りし、絶えず施策を進化させながら、県勢浮揚に向けて、職員とともに、全力で取り組んでまいります。

【人事異動の3つのポイント】

ポイント1

「活性化と継続性を両立したフレッシュな布陣」

- ・部長級においては、県政全般にわたる政策立案機能と総合調整機能の強化と人口減少の克服など、積年の課題に果敢に挑戦するため、組織の活性化と継続性を両立したフレッシュな布陣とした。

※総合企画部長に松岡商工労働部長を、理事（人口減少・中山間担当）に中村中山間振興・交通部長を充てる。

※令和5年度の庁議メンバー18名のうち異動者15名（うち退職8名）。

ポイント2

「未来につながる配置」

- ・副部長級においても、積極的な異動・昇任を行い、将来にわたる活躍を視野に配置した。

※令和5年度の政策調整会議メンバー16名のうち異動者11名（うち退職なし、部長級への昇格9名）。

ポイント3

「主要ポストへ女性職員を登用」

- ・庁議メンバーに女性3名を登用。
文化生活部長、水産振興部長、会計管理者
- ・本庁副部長に女性4名を登用。
子ども・福祉政策部副部長（総括）、子ども・福祉政策部副部長、
商工労働部副部長、観光振興スポーツ部副部長（総括）
- ・本庁主要課長に女性5名を新たに登用。
政策企画課長、広報広聴課長、人権・男女共同参画課長、産業政策課長、
農業政策課長
- ・知事秘書官に女性1名を初登用。

【異動の規模】

近年、職員の大量退職に対して、高校・大学卒業程度試験や社会人経験者試験での採用、再任用などで補う形が続いており、特に退職者が200人を超える規模となった8年前（平成28年）からは異動規模が大きくなる傾向にあります。

今回の人事異動も、同様の傾向にある中で、組織の活性化とともに、職員の能力が最大限発揮されるよう適材適所の人事配置を行った結果、過去10年で最大規模の異動となりました。

【庁議メンバー等】

部局長級である庁議メンバー（知事、副知事、県警本部長を除く）は現在18名で、このうち異動は15名（うち退職者8名）となっています。今回、新設する理事（人口減少・中山間担当）を加えるなどにより、令和6年度の庁議メンバーは19名とします。

また、副部長級の政策調整会議メンバー（副知事、県警参事官を除く）は、現在16名で、このうち異動は11名（うち退職者なし）となっています。

このように、新たな力を加えながら、引き続き県勢浮揚に向けて、全力で取り組んでまいります。

※ 各会議メンバーの平均年齢は、前年度とほぼ同じ。4.1現在で比較。庁議メンバー：56.6歳（教育長を除く）→56.3歳、政策調整会議メンバー：56.2歳→56.0歳

【職員数】

知事部局の職員数については、昨年より64人少ない306人の退職者がいる中、4月1日時点の職員数（見込み）は3,419人となり、職員総数は、昨年4月1日と比べ2人の減（8年ぶりの減）となります。

なお、この人数には、4月1日現在で育児休業及び産前産後休暇を取得している職員など83人を含んでおり、これを除くと3,336人となります。

【女性職員の積極的な登用】

適材適所の人事配置を基本としながら、時代の要請にあった県の政策の立案や事業を推進していく上で、職員全体の総合力が最大限に発揮されるよう、引き続き能力のある女性職員を積極的に登用しました。

特に今回は、副部長級、課長級、課長補佐級の女性職員を積極的に上位の職に登用し、1等級の女性職員については13名と、過去10年で最高となりました。

（副部長級から部長級への昇格2人、課長級から副部長級への昇任5人、課長補佐級等から課長級への昇任14人）

また、チーフ級以上のいわゆるポスト職にも女性を登用し、将来的に管理職を担うための力の蓄積を図りました。

知事部局における管理職、ポスト職に占める女性の割合は、次のとおりです。

○知事部局における管理職に占める女性の割合 19.7%（R5:17.9%、R4:14.6%）

○知事部局におけるポスト職に占める女性の割合 29.7%（R5:29.5%、R4:28.0%）

※上記割合はいずれも派遣職員を含んだもの

【職員への期待】

昨年は、連続テレビ小説「らんまん」の放送のほか、台湾からの定期チャーター便の就航などにより、県外観光客入込数はコロナ禍前を超え、過去最高となりました。この良い流れを継続させ、県勢浮揚を図っていく必要があります。

令和6年度は、県政の最重要課題である人口減少の克服に向けて取り組むとともに、今年度中に策定する「中山間地域再興ビジョン」や、改定した「元気な未来創造戦略」、第5期の「産業振興計画」や「日本一の健康長寿県構想」など主要な計画に基づき、各施策の充実・展開を図る必要があります。そのため大きな組織改正を行い陣容を整えました。ここから新たな4年間のロケットスタートを切るようになります。

全ての職員には、「共感と前進」という県政運営の基本姿勢の下、県民の皆さんとの対話を通じて県政に対する共感をいただき、そして課題の解決に向けて前進し、成果を上げることで県政をより一層進化させられるように、積極的に取り組んでいただきたいと思います。

世界的な新たな時代の潮流をつかみ取り、県政の諸課題を解決していくためには、これまで以上に斬新で柔軟な発想に基づいた政策を立案する必要があります。県民の皆さんと心をつなげて幾多の県政課題を乗り越え、その先にある、元気で豊かな、そしてあたたかい高知県を実現し、次世代に引き継いでいけるよう全力でともに、挑戦してくれることを期待します。